

2016年度

決算報告

2017年7月14日、第158回組合会において2016年度事業報告ならびに収支決算が承認されました。その概要をご報告いたします。

経常収支で22億632万円の黒字となりました

前年度に引き続き納付金が減少

2016年度（2016年4月～2017年3月）のIBM健保組合の収入支出決算状況は、収入185億2755万円、支出160億8334万円となり、収支差引で24億4421万円の残金が生じました。これを経常収支でも、差引き22億632万円と、前年度に続いて黒字を計上することができました。

黒字の要因として挙げられるのは、高齢者医療制度への納付金が前年度比マイナス2.4%と減少したこと。減少となったのは、前年度に引き続き精算による戻りが予想以上に多かったことによるものです。また、主にみなさまとご家族の医療費等に充てられる保険給付費は前年度からやや減となりました。一方、収入の大部分を占める保険料については、前年度とほぼ同程度の収入額となりました。

このように、2016年度は2015年度に引き続き黒字となりましたが、減少となった納付金のうち後期高齢者支援金については、負担額の算定方法が2017年度から総報酬割（被保険者の報酬水準に基づいて算定する方法）に全面移行するため、IBM健保組合の場合、2017年度以降は急増することが予想されています。さらに、保険給付費についても、昨今普及している高額薬剤の使用に伴う医療費への影響など、今後は予断を許さない状況といえます。

IBM健保組合では、引き続き事業の合理化・効率化を図るとともに、健診を中心とした各種保健事業の充実、「すこやかサポートPlus」の効果的な活用などを進めてまいります。みなさまにおかれては、これらをご利用いただきながら、日ごろの健康管理に十分留意され、また医療機関にかかる際には適切な受診を心がけていただくようお願いいたします。

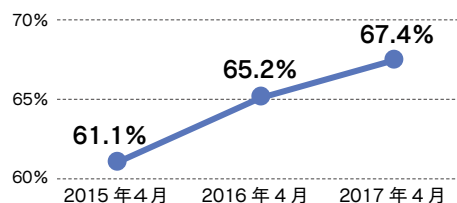
2016年度に実施した事業の効果

医療費等の削減を図りました

ジェネリック医薬品の利用促進

2017年4月現在、ジェネリック医薬品の使用割合は67%を超えました。

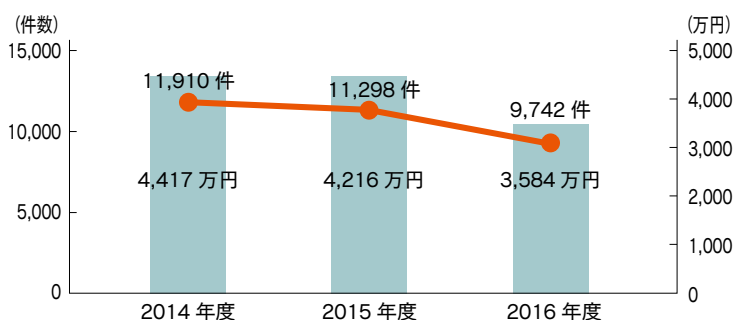
●使用割合*



*数量ベースによる使用割合。厚生労働省は、これを2020年9月までに80%以上とする目標（本年5月23日の経済財政諮問会議で公表された新目標）を掲げています。

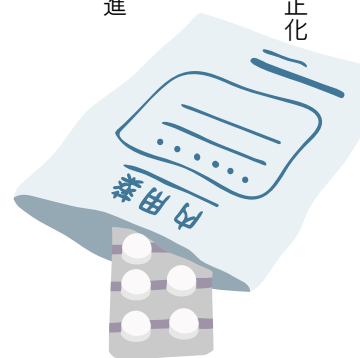
柔道整復療養費の削減

件数、金額ともに減少となりました。



2016年度に実施した主な事業

- 1 適用・給付事業**
 - ① ジェネリック医薬品の利用率を高め調剤額の削減を推進
 - ② 調剤直接審査・支払いの推進による医療費事務手数料の削減
 - ③ 柔道整復療養費の削減
 - ④ 重複受診・頻回受診に対する医療費の適正化
 - ⑤ 被扶養者資格確認調査の実施
- 2 保健事業**
 - ① データヘルス計画の実行・評価・見直し
 - ② 特定健診および特定保健指導の定着と推進
 - ③ 情報システムの活用および改修
 - ④ 健康増進センター改修



● 2016年度決算の概要

健康保険

収入	(百万円)
保険料	17,656
その他経常収入	313
経常収入合計	17,969
その他収入(調整保険料など)	558
収入総額	18,527

前年度比
+0.4%

支出	(百万円)
保険給付費	9,265
納付金	4,897
保健事業費	1,267
その他経常支出	334
経常支出合計	15,763
財政調整事業拠出金	313
その他支出	7
支出総額	16,083

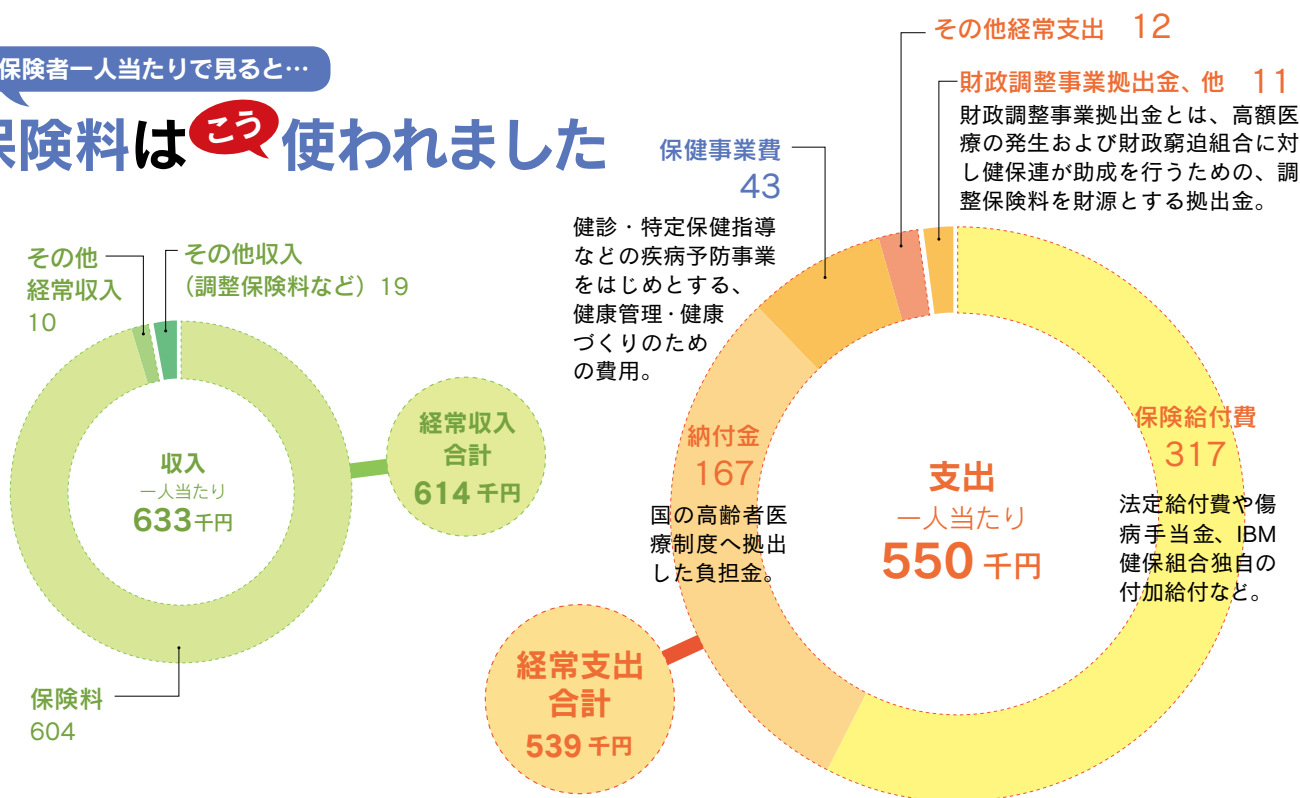
前年度比
-0.9%

前年度比
-2.4%

決算残金処分内訳	(百万円)
別途積立金	1,928
繰越金	500
財政調整事業繰越金	16

被保険者一人当たりで見ると…

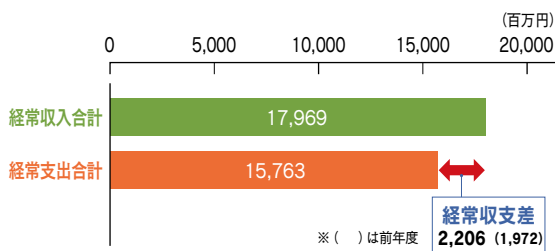
保険料はこう使われました



2016 年度も保険料収入の範囲内で事業経費を賄うことができました

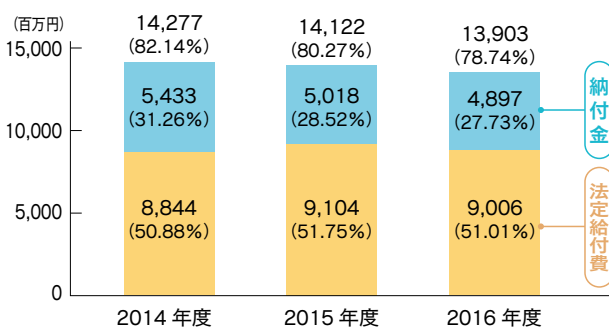
● 経常収支状況

保険料収入はほぼ横ばいとなりましたが、経常支出の大半を占める保険給付費、納付金ともにやや減となったため収支差はプラスとなり、その差は前年度よりもさらに広がりました。



● 義務的経費(法定給付費+納付金)の推移

義務的経費の保険料収入に対する割合は3年連続で減少し、2016年度は80%を切りました。納付金の減少が最大の要因ですが、これは精算による戻りなど一時的な状況といえます。2017年度からは、納付金のうち後期高齢者支援金の大幅増が見込まれており、義務的経費全体が増加に転じることが懸念されます。



介護保険

収入	(百万円)
介護保険収入	1,517
繰越金、他	30
合計	1,547

支出	(百万円)
介護納付金	1,476
介護保険料還付金	1
合計	1,477

